

地球の緑を守る会船橋支部

団体紹介	森の大切を主に学んでいます。 宮脇方式の森づくりを推進し、各地で行われている植樹際にも参加しています。「シイ・タブ・カシ」の木の主木で構成された本物の森は私たちに必要不可欠なものです。 鎮守の森をめぐり、関東の潜在植生を学び、この船橋に「どんな防災林」が「どこに」必要か、すでにある木をどう保全するかを考え、ドングリを拾い育てています。		
体験内容	森づくりセミナー(14:00～15:30) ・森の大切さを学びます 木の性質と役割。宮脇方式の自然林再生のノウハウをお伝えします。船橋市の潜在自然植生を知ってみましょう。 ※宮脇方式とは・・・ その土地本来の主木群を中心に、それを支える樹種を混植密植していく方法です。これにより10年20年と短い期間で防災・環境保全の機能を果たす森が完成します。 ・タブノキの苗をビニールポットに移し替える作業		
体験日時	9月6日(日)14:00～15:30		
活動場所	勤労市民センター(本町4丁目19-6)		
対象者	中・高・専・大	募集人数	20人
必要な物 服装など	軍手・汚れても大丈夫な服装・持っている人はスコップ		
注意事項	ゆるい会なので、あまり期待しすぎないでください		

【活動の様子】



森づくりセミナーの様子とタブノキの苗をビニールポットへ移し替える様子

申込方法			
☒ 7月6日以降(メール)にて受付			
担当者名	伊藤由美子	電話番号	080-5407-2451
メール	choohanami@gmail.com		
担当者から	自然と人・科学が共に共存共栄できる世界を創るために まずは知るところから始めましょう		